

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 5年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ那珂支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	78%	22%	0%	限られたスペースの中で密にならないように工夫している。支援内容に合わせて設定がしやすい。教室が広いので、活動によって配置をかえて使用できる。
	② 職員の配置数は適切であるか	78%	22%	0%	教室の利用人数によって人員確保している。QOLでは人員について適切か同むているのか考えて欲しい。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	67%	33%	0%	フロアには必要最小限のものを置く。整理整頓し物の居場所を作る。スペースを広くする。トイレの中で着替えが必要な時は狭い。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	常に職員同士話し合う。支援の統一。情報の共有。改善しよりよい支援を目指す。支援記録作成。モニタリング記録。ミーティング等で参画している。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	アンケート結果を職員と話し合い、保護者利用者の要望を把握。足りない部分を改善していく。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	毎年5月ホームページに公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	89%	11%	0%	第三者委員会設置している。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	100%	0%	0%	外部講師を招いての全体研修。各教室での研修。外部へ出向いての研修に積極的に参加している。週1回の教室ミーティングで、支援について話し合う時間を作る。希望研修については職員に回覧し周知。定期的に行い学んでいる。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	100%	0%	0%	個別支援アンケート、面談にて保護者、利用者のニーズを知る。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	統一した支援ができるように情報の共有、申し送りの徹底。活動プログラムは担当が考え、全員で話し合い決定・変更する。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	カリキュラム委員会、企画課で大案を作り、教室で利用者それぞれに合った内容にしている。基本の活動を中心に据え、季節ごとのイベント・工作・飾りつけ作成等でマンネリ化しないように努めている。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	利用者が楽しく活動できるように常に考え工夫している。年間活動スケジュールを基に
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	個別支援計画に基づいて個々に合わせて作成されている。その日の体調、状態を見て対応する内容になっている。
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	前日に送迎、カリキュラムの内容を周知、準備、送迎に間違いが無い事を確認している。朝の会時に申し送り注意事項、1日の流れ等を周知
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	支援ご送迎に行くので毎日全体で集まる事はないが、メール電話にてその日のうちに報告・連絡・相談し問題点、気付いた点、良かった点を共有している。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	モニタリングノート、支援記録を記入。問題点を見つける。ミーティングで支援方法について話し合う。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	定期的にモニタリングをし、目標を確認している。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	0%	0%		

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	88%	13%	0%	
---	--	-----	-----	----	--

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	送迎時学校の様子を聞く。本事業所の様子を伝え情報の共有、対応方法など、検討する。学校から送迎時間の変更等のお知らせをメール・FAX等でいただいている。送迎時にトラブルが無いように教室研修をしている。トラブル発生時にも迅速に対応・処理・報告している。学校・家庭と連携し、下校時間の変更確認、対応している。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	75%	25%	0%	現在医療的ケアが必要な利用者はいない。必要な時は主治医、家庭と連携する。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等間で情報共有と相互理解に努めているか	86%	14%	0%	児発（子育て支援教室）から放デイ（那珂支援教室）に上がる利用者については職員からの書類で申し送り。見学、体験を行いスムーズに教室に入れるようにしている。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%	0%	0%	必要な時、求められたとき学校へ出向き、話し合い、情報共有している。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	86%	14%	0%	社協・那珂市・水戸市主催の研修に積極的に参加。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	57%	43%	0%	コロナの感染が収まってから活動が出来ればと思う。福祉関係の仕事を目指す学生を招き研修や見学、体験、ボランティアを長期休みに行ったらどうか。
	㉖	協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	社協・那珂市・水戸市主催の研修に積極的に参加。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	日々の送迎時、問題行動のあった時、電話連絡をして情報の共有。家と教室での支援方法を共有。送迎時活動の報告、対話をして情報の共有、共通理解に努めている。職員間の連絡も密にする。丁寧な対応をする。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%	0%	0%	面談時や相談があった時、相談員と他事業所の職員を含めて担当者会議を行い、保護者との話し合いの場を作る。
保護者への説明的責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に丁寧に説明。聞き取り、保護者との話しやすい関係作りをし、何でも話してもらおう。利用者負担に変更があった時は、お手紙を渡し、口頭で説明している。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	保護者との密な関係、話しやすい関係を作り、なんでも話してもらおう。相談しやすい雰囲気作り、相談あった時丁寧に対応する。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	88%	13%	0%	
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	教室主任副主任を中心に保護者からの疑問や苦情に対して適切・丁寧に、かつスピーディに対応している。本社への報告、管理者の把握も即時行われる。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	ハグシステムにより、日々の子どもの活動の様子をスピーディにアップしている。また保護者との双方向での連絡も密に図っている。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	鍵のある書庫に収納、ブログ、インスタグラム等写真を投稿する時はダブルチェック。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	各職員報告連絡相談に努めている。
非常時の対応	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	88%	0%	13%	発表会・フェス・イベント等に相談員・他事業所の職員・取引先関係を招待。地元の人々の理解は必要だが、なかなか難しいと思う。
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	契約時に説明。職員は年に1回は必ず目を通して。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	年に2回。消防に届け出開催。報告書を委員会に提出。火災地震発生に備え定期的に避難訓練実施。水消火器を使い消火器の使い方についても訓練している。避難所までの移動も徒歩で行い訓練している。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	100%	0%	0%	年2回教室研修。外部講師を招いて全体での虐待防止。身体拘束適正化研修開催。新聞に掲載されたことから、保護者から「安心して預けられる施設」という声が寄せられた。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	契約時保護者に説明。緊急やむを得ない場合のみ短時間で危険を回避する事を伝えている。同意書も頂く。

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

⑫	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	食物アレルギーがある場合、医師の診断でアレルギー表の提出。
⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	ヒヤリハット・事故・苦情報告書を発表。周知。再発防止について話し合う。教室内ミーティングで周知同じミス、事故をしないように話し合う。